

4月の講座から

4月23日(日) いずみ理科教室「身近な生き物探検隊」

生憎の天気で迎えたこの日、今年度増加したアースフレンズのメンバーを含め25名の盛況となりました。植物を中心とした自然観察の理科教室は、前半で観察することの意味を体験させ、後半では春の野草に加えて、ビオトープ周辺の生き物をテーマに役割や不思議のお話がいっぱいでした。

なお後半には集中力が薄れ、私語を交わしたり勝手な行動をする子どもも見受けられて今後課題を残しました。(M.K)



いずみのまわりにはどんな生き物がいるのだろうか？あいにくの曇り空のなか、20人ほどの友達と探検しました。まずは探検する目をきたえるため、文房具を木にかくし、数を当てるゲームです。全員9つの文房具をみつけることができました。いよいよ探検だ！いずみの裏にあるビオトープの池へ行き、生き物を見つけよう。さまざまな生き物を見つけ、部屋で観察だ！先生の説明をよく聞いてね。拡大鏡で見るとよくわかるなあ。いずみのまわりにさいているたんぽぽにも2種類あるんだ。花がきれいで良い香りがするのも理由があるんだね。そのほか、身近な生き物について先生がいろいろ教えてくれました。これからも身近な生き物が絶えないよう、いずみで環境について考えてみませんか！(H.I)